

授業科目名 (英文名)	Reading and Discussion 1 英語 R D 1 (H 4)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	寺西雅之	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を読んで理解することができる</p> <p>2) 上記の英語文の内容の趣旨や要点を表現することができる</p> <p>3) 読解のための基礎的スキルを習得している</p>		
講義内容・授業計画	<p>授業では英文で書かれた内容について理解しまた自分でまとめて意見を表現することができるように、英文読解のための基本的文法事項、文の構造、語彙、慣用句などを学習する。また、英文のパラグラフ構造を学習し、スキミング、スキミング、背景知識の利用など読解のためのスキルを習得する。毎回の課題をこなし、予習復習をおこない、積極的に授業に参加することが求められる。</p> <p>授業進行は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Explore the World Beyond the Syllabus 2. The University & Civic Engagement: A Brief History 3. Life Design for Centenarians 4. Can Humans Really Fall in Love with Robot? 5. Looking at Art of Other Cultures 6. What Literary Works Teach Us 7. Advice from the Philosopher Nietzsche: Have a Strong Will to Live Well 8. Three Tools for Learning at University 9. Laugh, and then Think: The Ig Nobel Prize 10. Ecological Thinking 11. Economy, Healthcare and Quality of Life in Two Cities 12. Sports, Culture and Communication 13. Form and Function in Classical Music 14. Business in Asia: Global Companies in Japan 15. まとめと評価 <p>定期試験</p>		
テキスト	The Intersection of Arts, Humanities and Science: Fifteen Selected Passages for University Students-(成美堂)		
参考文献			
成績評価の基準・方法	<p>日常的な社会活動において必要となる英語文を読んで理解し、その趣旨や要点を表現することができるものに単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。</p> <p>ミニレポートなどによる平常点40%、レポート60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>理由のある欠席の場合は必ず証明書を提出すること(例: 病欠の場合は、診断書(コピー可)、病院の領収書等)。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業</p> <p>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		

備考

本授業には、学生が授業中に英語を用いた活動に取り組むアクティブ・ラーニングが含まれる。